

地域清掃を終えて

発行日：2024.11.18
発行元：南丹市立八木中学校
生徒会本部

地域清掃に参加した皆さんが書いた感想文をまとめました。ぜひご覧ください。

- 私は今年初めて地域清掃をして、この取組はすごく良い取組だと思いました。清掃する前は、どんな取組なのか、何をするのかなど分からないことだらけですごく不安だったけど、新キャプテンや先輩もいてくれたのですごくやりやすかったし、安心感があって先輩ってすごいなと改めて思いました。そしてごみなんてあんまりないだろうと思って拾いに行ったら、すごくたくさんあって正直驚きました。特に多かったのが、たばこやプラスチックでした。今考えると、八木中学校の人が拾っただけでこんなにゴミがあるとなると、地球温暖化などにもつながっていくんだなと思ったし、悪いことしか起きないと思います。他にもこの取組の帰りに、部活のみんなと挨拶をしたりお辞儀をしたりすると、地域の方はすごく笑顔でお疲れ様やお帰りなど、優しい声がたくさん聞こえてきて、これが「あいさつでつながる町・八木町」に繋がっていくのではないかと思います。(1-1)



- 私はこの活動を通して、初めはめっちゃ寒かったし、1時間以上も続けられるのかなと心配でした。しかしやっていくにつれて、ゴミ拾いにどんどん夢中になっていきました。多分、自分達が過ごす町がきれいになっていってうれしかったんだと思います。それに地域の人に会えば挨拶をすると、返してくれる人がいました。中には相手の方から挨拶をしてくださったり、声をかけてくださる人もいて、きっとそのことが力になったんだと思います。私は改めてなぜこんなにゴミがほかされているんだろう？なんでゴミをポイ捨てる人がいるんだろうと不思議に思いました。ゴミを捨てても、町が汚くならないだけで、何一ついいことなんてないのに…。今回参加してみて、ポイ捨てをするということは、SDGsにもかなり関わってくるのではないかと考えました。今自分達にできることから少しずつ社会をよりよくするための活動などに、もっとたくさん取り組めたらなと思います。あと、八木の花火大会があった次の日の掃除にも行かせていただいて、その時よりはゴミの量は少なく感じたけど、袋がパンパンになった時はとても嬉しかったです。この取組で八木町が少しでもきれいになっていたらいいなと思います。(1-1)



- 毎日お世話になっている八木町を自らの手で清掃できて、きれいになって嬉しかったです。同じ班の人達とナマズを見たり、たくさんゴミを拾ったりと、普段しないような経験は新しく、意外と楽しかったです。今回歩いた所以外にもゴミはたくさん落ちていると思うので、清掃をしてみたいと思いました。八木町のためにも、自分のためにも、挨拶や温かい言葉をかけることをぜひ実践してみたいです。地域清掃の目的も、もっとできたと思います。地域の人への思いやりや、それを行動に起こせるように、もっと頑張りたいです。(1-2)



- 私は大堰川の河川あたりに、意外とゴミがあってびっくりしました。特にプラスチック類、たばこのかすがたくさん落ちていました。プラスチック類は、もし動物が食べてしまったらとても危険だから、落としてはいけないです。たばこは小さいし、見にくいし、狭いところに落ちているのが多かったから、もし散歩中に犬などが間違えて食べてしまったら危険だと思いました。それにたばこは人間にとっての毒でもあるから、絶対に落としてはいけないと思います。帰り道、地面を見ると、いろいろなゴミが落ちていて、どれだけ清掃しても、やっていないところにもゴミが落ちていることが分かりました。このまま、どれだけ清掃してもゴミは減ることはなく、増えるかもしれないから、毎年、もしくは半年に1回くらいは清掃をしないと行けないと思います。今後、「あいさつでつながる町・八木町」の実現に向けて、私は今回のような清掃を通して、地域の方達とつながれるし、仲良くなって挨拶ができる関係になればいいと思うから、清掃をまたして、地域の方達とつながりたいです。(1-2)

- 3年生の姿を見ると、大きい車が道路を通った時とかに、「あぶない」と注意していたことも印象的で、自分から積極的に挨拶をしていてカッコいいなと思いました。来年も地域清掃があるので、3年生のように挨拶などもしっかりできるようになりたいです。私は生活美化部だったので、みんなが帰った後にごみの分別をしていました。全校生徒が集めたゴミの量がすごく多くて、八木町にはこんなにゴミがあると知れました。特にペットボトルのゴミが多かったです。今後自分もポイ捨てをしないように気をつけたいし、地域清掃を見ていた地域の人にも八木中生の思いが伝わったんじゃないのかなと思いました。来年の地域清掃で、前よりもゴミの量が減少していたらいいなと思いました。(1-2)



- ごみが落ちている場所にばらつきがあったし、場所によって落ちているごみの種類も違っていた。ポイ捨てなどをしている側からすれば何も思っていない人が多いのではないかと考え、どうすれば地域のごみを少しでも減らせるのか、どうすれば八木町に貢献できるのかという課題を、来年の地域清掃があれば解決できるようにしたいと思った。(2-1)



- 町を歩いていると散歩している人や小学生に出会ったり、他の部活に会ったりしたら、バレー部全員で元気な挨拶をすることができた。ある空き地に入ると見たことのないゴミの量でびっくりした。中には、まだ一切手をつけていないような食品や、まだ新品で使えるようなものもあった。その捨ててあるゴミを見て、「町はゴミ箱じゃないのに」と思った。だから、これからは「使えるものは最後まで使う」「捨てる時は分別して捨てる」の2点を意識して過ごしたい。(2-1)

- 活動する前は、河川敷だから花火大会後の清掃があったし、そんなにゴミが落ちていないと思っていました。でも、実際に行ってみるとたくさんゴミが落ちていました。多かったのは、たばこ、輪ゴム、魚、ペットボトル、食べ物のごみなどです。花火大会後の清掃からそんなにたっていないのに、ゴミが多かったということは、ポイ捨てしている人が多いということだから、人々の意識が下がっているのかなと感じました。ゴミが落ちているのは端っこだったり、見えにくいところだったりして、それはポイ捨てしている自覚があるのかなと思いました。だから私は絶対にゴミはゴミ箱にしっかり入れたいです。(2-2)



- 清掃をしてみると、めっちゃ落ちててびっくりした。弁当箱やスリッパ、靴、初心者マーク、部品がたくさんあった。見方を変えないと、ゴミは探せないんだと思い、見方を変える大切さも感じた。(2-2)
- 私は大きい道沿いの清掃をして、たばこの吸い殻やお酒の空き瓶が多かった。同じ種類のたばこの吸い殻がたくさん見つかって、同じ人が毎日捨てたり、一気に捨てたりしているのかなと思ったし、もしゴミを道に捨てたことで事故が起きたらすごく危ないなと思った。2年前に行ったあいさつステッカー配布のステッカーがたくさんの地域の方が家に貼ってくださっていたり、地域の方が挨拶を返してくださる方が多くなってきて、すごく地域と繋がってきたなと感じる。これからも地域に貢献できるような活動をして、「あいさつでつながる町・八木町」をさらに広げていってほしい。(3-1)

- この地域清掃で感じたことは、1・2年生の積極さです。もちろん、3年生として指示出しはしていましたが、自分から率先してゴミを拾って捨てたり、先輩や先生に「これってなんのゴミですか?」「これって拾ったほうがいいですか?」などを聞いていて、とても良かったです。今回地域清掃で最も多かったゴミは、たばこの吸い殻やたばこの空き箱です。たばこは大人しか吸えないので、捨てているのは大人、しかもそのゴミが一番多かったということは、たくさんの大人が捨てているということです。子どもの見本となるべき大人が捨てているという現状は、直さないといけないと本当に思いました。あと1年生の子が言っていたのですが、その子が登校する道の所に飛び出し注意の看板があったのですが、1年生の子がいうには、「グラグラしていて今にも倒れそう」と言っていました。ですが、それが直されていて、倒れないようになっていました。きっとそれも、倒れたら危ないからと、地域の方が直してくれたんだと思い、心が温まりました。(3-1)



- 自分が清掃した道はなかなか歩くことがない道で、車だとすごくきれいに見えるけど、実際にはたばこやビニール袋などが落ちていて、びっくりした。今回は八木中周辺だけでなく、これを東小校区でもやってみたら、もっとたくさんのごみが集められると思った。また、自分の地域でもやってみたいなと思った。(3-2)



- 地域清掃をしてみて、ゴミは落ちてはいたけれど、ものすごい量ではなくて、それは普段から地域の方がゴミを捨ててくださっているからゴミがあまりなかったんじゃないかなと思った。今回の活動で、これからは町を歩いている時にゴミを見つけたら拾えるんだったらゴミを拾って、少しでも地域に感謝しようと思った。(3-2)

- 自分が掃除した所に、大量のゴミが置いてあって汚かった。埋まっているゴミとかがあって、みんな見て見ぬふりしてきたんだろうなと思いました。通りがかりの人に挨拶をしたら、「頑張ってるね」と声をかけていただいて、とても心が温まりました。私は清掃めんどくさいと思っていました。けどやっていくうちに楽しくなってきた、ゴミを見つける度にグループのみんなで「ゴミ見つけた!」「このゴミ、いつから捨てられていたと思う?」とか、みんなでわいわい清掃していて、気づいたら特大サイズの袋2枚パンパンになるまで集めていました。みんなで清掃した場所がきれいになった時、達成感があって良かったです。今年で3年は最後だけど、これからの学年につないでいけたらいいなと思いました。(3-2)

